

入学・研究生を希望する人へ

まず、以下の3種類の情報をよく見て、自分の研究テーマと合っているかどうかよく考えてください。

杉浦の研究業績

杉浦が取り組んでいる研究プロジェクト

杉浦がこれまで指導した修士論文・博士論文

- ・日本語教育などに関するものも含まれていますが、していますので注意してください。

以下の条件をクリアーしてから、問い合わせをしてください。

(ある程度)高い英語力(最低限の目安は以下の通り)

- ・ IELTS 6
- ・ TOEFL iBT 80
- ・ TOEIC L&R 800

日本語能力試験 N1 合格

研究計画書を添えて問い合わせをしてください。

- ・履歴書だけでは判断できません。

研究計画書を書く前に以下の本を読んでおいてください。

白井 恭弘 (2008) 外国語学習の科学 - 第二言語習得論とは何か (岩波新書)

<http://amazon.co.jp/o/ASIN/4004311500/>

浦野 研他 (2016) はじめての英語教育研究 - - 押さえておきたいコツとポイント (研究社)

<http://amazon.co.jp/o/ASIN/4327421979/>

以下の学術雑誌に載っている論文を読んで、そのを立ててください。

- ・ [Studies in Second Language Acquisition](#)
- ・ [Language Learning](#)
- ・ [Applied linguistics](#)
- ・ [The Modern Language Journal](#)
- ・ [TESOL Quarterly](#)
- ・ [System](#)
- ・ [Language Teaching Research](#)
- ・ [International Journal of Learner Corpus Research](#)
- ・ [International Journal of Corpus Linguistics](#)

研究計画書 (分野に限ります)

•
•

- <https://plagiarism.strud.net/>
- [iThenticate](#) ですべてチェックします。

1. 序論（具体的に何を研究したいか）
2. 先行研究
 1. 該当分野の研究の大きな流れのまとめ
 2. 直接かかわる主要文献のレビュー
3. 研究課題（取り組みたい具体的な研究テーマについて）
 1. 具体的に何を明らかにしたいか（Research Question）
 2. 仮説
4. 研究方法（どのような方法で研究するかを説明する。）
 1. どのような手順か
 2. どのようなデータか
 1. 実験協力者（被験者）
 2. 実験項目等（言語データ）
 3. どのような分析方法か
 1. 言語処理方法
 2. 統計分析方法など
5. 予想される研究結果
 1. 予想の根拠
6. 参考文献

• 以下参考

- http://www.nakahara-lab.net/2013/05/post_2004.html